

## 事業所向けセキュリティサービス



2007年3月、東京都港区・六本木に話題スポット「東京ミッドタウン」がグランドオープンしました。

「東京ミッドタウン」は、地下5階、地上54階を誇るミッドタウンタワーを中心に、6つのビルから構成されています。これらの建物では「都心の上質な日常」をコンセプトとした街が形成され、世界中から厳選されたファッションやインテリアのショップ、レストランなどが出店し、美術館やホテル、オフィス、マンション、メディカルセンター、公園もそろった複合都市を形づくっています。

セコムは同施設に、常駐警備と「セコムAEDパッケージサービス」をご提供しています。

写真提供：東京ミッドタウンマネジメント株式会社

長年にわたって蓄積してきたノウハウと、ご契約先からの信頼。  
セコムだからこそ提供できる質の高いセキュリティと総合力で、  
お客様の多様なニーズに応え、新たなサービスを積極的に展開しています。

### 大規模施設の高度で多様な セキュリティニーズに対応

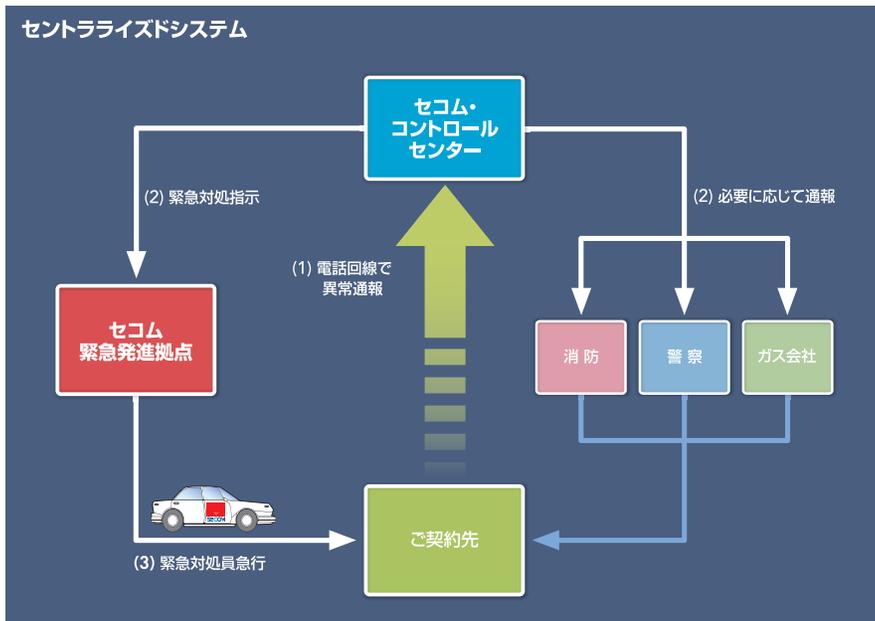
大都市の再開発は、東京だけではなく大阪、名古屋などにも広がっており、そこに建設される大規模施設では、凶悪犯罪や事故を未然に防止して、安全な運営・管理を実現する高度で多様なセキュリティが求められています。このような大規模施設のニーズに応じて、セコムはこれまで蓄積してきた豊富な経験とノウハウを活かし、2006年11月に大規模施設向け標準システムである「トータックスZETA」の機能向上とコスト削減を実現し、一般普及型システムとして販売を開始しました。

セコムの大規模施設向けセキュリティシステムの最大の特徴は、機械によるセキュリティサービスを提供するだけでなく、高度な訓練を受けた安全のプロフェッショナルである常駐警備員による運用サービスも提供していること

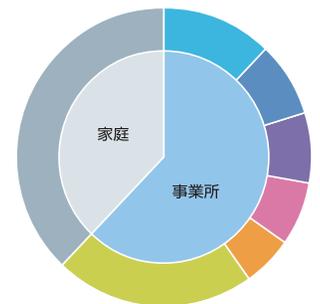
にあります。これによって、セキュリティシステムと人的警備が一体となった、より質の高いセキュリティを実現しています。また、セコムの豊富なサービス・商品を複合的に組み合わせることで、お客様の多様なニーズにお応えできるのも大きな特徴のひとつです。

例えば、セキュリティをさらに強化するサービス・商品だけではなく、突然心停止した人に対する救命用の「セコムAEDパッケージサービス」も提供しています。このサービスは、一般企業の大規模ビルや官公庁の建物、空港、商業施設、宿泊施設などに導入され、AED（自動体外式除細動器）で命が救われたという事例が多数報告されています。セコムは、施設の安全だけではなく、その施設を利用する人の安全も見守っています。

また、セコムの最新の技術とノウハウを結集して開発した屋外巡回監視ロボット「セコム



セントラライズドシステムの契約先区分  
(2007年3月31日現在)



■ サービス業	12.1%
■ 小売・卸売業	8.1%
■ 金融機関	7.6%
■ 製造業	6.9%
■ 政府機関	5.5%
■ その他	21.9%
■ 家庭	37.9%

## 事業所向けセキュリティサービス

ロボットX」は、360度を監視できるカメラを搭載しており、固定の監視カメラでは対応が難しかった、死角の多い広大な敷地などで、より効果的な監視サービスを提供しています。

セコムは、これからも独自のセキュリティノウハウと総合力で、大規模施設に対するお客様のさまざまなニーズに応えていきます。

### 利用形態が拡大する

#### オンライン・セキュリティシステム

セコムは、画像認識技術の活用で、状況に即した最適な対応を短時間で実施できる「セコムAX」など、建物の規模、用途およびニーズに応じた、さまざまなオンライン・セキュリティシステムを提供しています。最近、企業の事務所や店舗で、早朝・深夜など、従業員が少なくなる時間帯を狙った凶悪事件が、たびたび発生しています。これを防止するために、セコムは従業員が在室中でも窓や扉などの防犯センサーを監視状態にして、在室者の安全を確保できる機能を、各システムに追加できるようにしました。

24時間営業店舗で多発している強盗事件を未然に防ぐ目的で開発されたのが、「セコムIX」です。このシステムは、深夜の店舗に不審者が来店した際に、従業員が不安を感じて簡単な操作をすると、セコムの画像センターが画像と音声でその状況を監視し、必要に応じて音声による警告をするなど、的確な対応を行

うことができます。「セコムIX」は、有人施設向けのセキュリティとして威力を発揮しており、最近ではマンションのエントランスなどにも導入されるケースが増えています。また、金融機関の営業時間中における安全確保のニーズに応えて、金融機関向けセキュリティシステム「ハックス」と「セコムIX」を統合した「ハックスIX」の販売も開始するなど、「セコムIX」の応用範囲を広げ、より質の高いサービスを提供しています。

### ますます拡大する情報管理のニーズ

2005年に個人情報保護法が施行され、個人情報の取り扱いが厳しく制限されるようになりましたが、それでも個人情報の流出は後を絶ちません。そのため、企業は夜間や無人時だけではなく、就業時間も含めた24時間体制の厳正な情報管理を求めています。このようなニーズに応えているのが、統合型出入管理システム「セサモTRⅡ」です。このシステムは、1台の管理パソコンで、お客様の多様な出入管理のご要望に応えることができます。また、各種の非接触ICカードが利用できる出入管理システム「セキュリティロックⅡ」や手のひら静脈を使った認証システム「セサモID」など、セコムのさまざまな認証機器と組み合わせることもできます。収集した出入情報は、管理区画・時間帯・個人単位などで集計出力することができ、従業員の就業時間の管理も行えるなど、



屋外巡回監視ロボット「セコムロボットX」



セコムの緊急対応員



手のひら静脈認証システム「セサモID」

多彩な管理機能を備えています。就業時間の管理機能は、従業員の健康管理の目的などでも利用され、近年この機能の利用が増加傾向にあります。

セコムは、これからも情報管理の有効な対策となるオンライン・セキュリティシステムや出入管理システム、監視カメラシステムを積極的に提案し、拡大し続けるニーズに応えていきます。

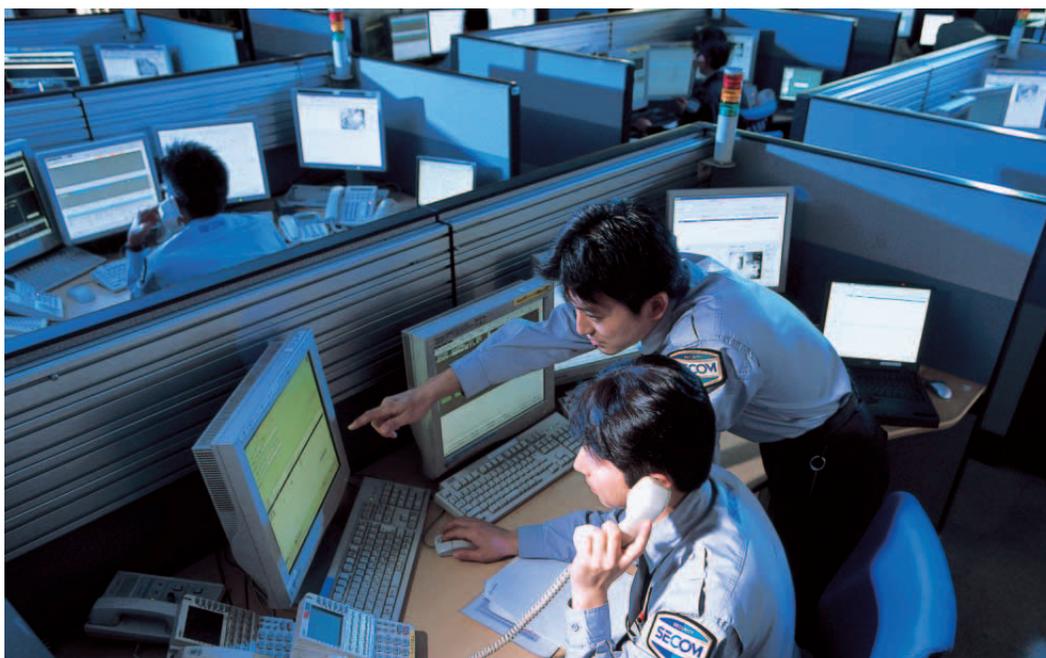
### 新サービス「世田谷区安全安心パトロール」を開始

2007年4月、セコムは、犯罪件数を減少させたいという東京都世田谷区の委託を受けて、区内の公道や公園などをセコムの社名が入った巡回車両で24時間365日パトロールを行う、「世田谷区安全安心パトロール」を開始しました。これは世田谷区民の約80万人がお客様といえる、非常に公共性の高いサービスです。世田谷区は、「セコム・ホームセキュリティ」をはじめとするセコムのセキュリティシステムの

お客様が大変多い地域です。今回の「世田谷区安全安心パトロール」は、世田谷区民に「安全・安心」を提供するだけでなく、セコムを身近に感じていただくうえでも大変意義があります。民間企業による、街全体の犯罪抑止をめざしたこの新サービスで、セコムのサービス領域はまたひとつ拡大しました。

### 運営を開始したわが国初のPFI刑務所「美祢社会復帰促進センター」

セコムは、「社業を通じて社会に貢献する」という企業目標のもとに、新しい事業にも積極的に挑戦しています。そのひとつが、2007年4月から運営を開始した、わが国初のPFI (Private Finance Initiative) 刑務所「美祢社会復帰促進センター」(山口県美祢市)です。セコムを代表とする企業グループがこの整備・運営事業を一般競争入札で落札し、セコムを筆頭株主として設立した、社会復帰サポート美祢(株)が、18年間法務省と協働で運営します。このセンターは、受刑者の社会復帰を促進すること



セコム・コントロールセンター

## 事業所向けセキュリティサービス

「美祿社会復帰促進センター」の全景



「美祿社会復帰促進センター」のエン  
トランス(上)と収容棟内を巡回警備  
するセコムの常駐警備員(下)

を目的に、これまでの日本の刑務所にはないさまざまな特徴を備え、名称も“刑務所”ではなく、“社会復帰促進センター”としています。

このセンターの一つ目の特徴は、民間のノウハウを積極的に活用した官民協働による運営です。国の業務を大幅に民間に委託することで、刑務官は本来の業務である受刑者の矯正教育に専念できます。セコムは、刑務官の業務を支援するために、最先端のセキュリティシステムによって、効果的・効率的な安全管理を行っています。

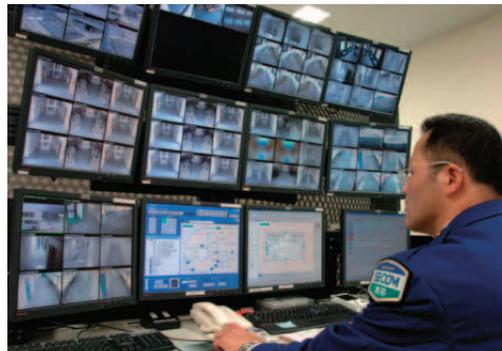
二つ目の特徴は、受刑者の社会復帰の促進です。IT教育など独自の社会復帰支援プログラムを導入しているほか、一般社会に近い環境で生活ができるように、受刑服や居室も工夫しています。収容室は半開放になっており、受刑者は限られた時間以外は収容棟内の廊下や多目的ホールなどの共用部を、自由に入出入りすることができます。受刑者の自律性を養うために、センター内の移動は独歩で行わせ、

社会復帰に不可欠な家族とのつながりを保つために、遮蔽物のない面会室も設けています。

さらにセコムを中心とする企業グループは、栃木県さくら市にあるPFI刑務所「喜連川社会復帰促進センター」と、その近隣の「黒羽刑務所」の運営事業を落札し、2007年10月から業務を開始します。セコムは、こうした事業を通じて刑事施設運営のノウハウを獲得するとともに、受刑者の早期社会復帰を促進・支援することで、「安全・安心」な社会の構築に貢献していきます。



センター内に設置されたCCTVシステム



24時間監視を行う中央警備室



IT授業を行うパソコンが設置された訓練室

## セコムの人材育成

セコムが事業を行うときに最も大切にしているものは、お客様からの「信頼」です。その「信頼」に応えるためには、セコムの社員が、お客様の立場に立った高品質なセキュリティサービスを提供していく必要があります。セコムでは全国4カ所にある研修施設「セコムHDセンター」で、独自に開発した教育研修プログラムによる社員の教育研修を実施し、質の高い人材の育成を行っています。教育研修では、安全のプロフェッショナルとしての知識と技術を習得することはもちろんですが、セコムの理念である「正しさの追求」を判断基準に、「セコムグループ社員行動規範」のもとに行動するように、高い職業倫理を徹底させています。

社員一人ひとりが高い倫理観を持って業務を行うことで、セコムは高品質なサービスを提供し、社会に貢献することができます。信頼のブランド「SECOM」として高い評価をいただけるのも、このような徹底した人材育成があるからです。



セキュリティ機器の操作を学ぶ研修社員



セコムの理念を学ぶ研修社員

## 家庭向けセキュリティサービス



高品質なセキュリティと各種の付加価値サービスで、  
家庭向けセキュリティ市場をリードする「セコム・ホームセキュリティ」。  
セコムの豊富なサービス・商品を活用した提案で、安全・安心な街づくりにも貢献しています。

#### 幅広いご要望にお応えして利用が増大する 「セコム・ホームセキュリティ」

セコムは、1981年にわが国初のホームセキュリティを発売して以来、家庭向けセキュリティ市場もリードしています。「セコム・ホームセキュリティ」は、24時間365日、侵入・火災・非常通報・ガス漏れ・救急通報などをオンラインで監視し、高品質なセキュリティサービスを提供することで、お客様から高く評価されています。

「セコム・ホームセキュリティ」のお客様は年々拡大しており、マンションにお住まいの独身者から中高年のご家族まで、幅広い層のご契約をいただいています。また、これに伴い、「セコム・ホームセキュリティ」の付加価値を高めるさまざまなサービスも拡大しています。例えば、「セコム・メディカルクラブ」は、「セコム・ホームセキュリティ」をご契約のお客様を対象に、電話相談やインターネットなどで24時間健康管理サービスを提供することで、お客様の健康不安を解消するお役に立っています。

「困った時はセコムに頼みたい」というお客様のご要望にお応えして始めたのが、生活支援

サービス「セコム・ホームサービス」です。水まわりや鍵のトラブルへの対応、ご自宅のパトロールをはじめ、多様なメニューをご用意して、日常生活で起こるお客様のさまざまな問題を解決するお手伝いをしています。この「セコム・ホームサービス」はお客様に大変ご好評をいただき、サービス対象エリアを拡大しています。今後も全国の政令指定都市などに順次拡大し、「困った時にはセコム」とお客様に頼られる存在になっていきます。

最近では、居住者の在宅時を狙って押し入り、危害を加える凶悪な犯罪が増える傾向にあります。その点、「セコム・ホームセキュリティ」は、留守のときだけでなく在宅時のセキュリティも充実しているため、さらに安心です。また、より防犯機能を高めたいお客様のために、センサー付き防犯ガラス「SECOMあんしんガラス」や、通常のガラスを強化する「SECOMあんしんフィルム」など、ご家庭の安全を強化するさまざまな商品も販売しています。そして、訪問者が故意に顔を隠していないかを判別する顔検知機能を内蔵した「セキュリフェースインターホン」や、夜間、人が近づいたときにライトを自動点灯させてその画像を撮影する



「セコム・ホームセキュリティ」



生活支援サービス「セコム・ホームサービス」



セコムショップ

## 家庭向けセキュリティサービス

「センサーライトカメラ」など、画像技術を利用した安全商品のラインアップも拡充しています。

ホームセキュリティ市場が本格的な普及段階に入った今、セコムは付加価値の高いサービスを提供することで、さらに競争力を高めていきます。また、「セコム・ホームセキュリティ」の営業拠点であるセコムショップも、大都市を中心に全国に拡充していきます。

### ニーズが高まるタウンセキュリティを実現

犯罪の凶悪化に伴い、セコムは住宅街をまるごとセキュリティで守る取り組みも進めています。それがセコムが提案しているタウンセキュリティです。セコムは、住宅街全体と各戸に、オンライン・セキュリティシステムとさまざまな安全商品を最適に組み合わせて提供することで、高品質なタウンセキュリティを実現してい

ます。例えば、来訪者は住宅街入口のインターホン（「セコムMS-3」）で訪問先に連絡し、各住戸の居住者は遠隔で住宅街入口のゲートを開錠します。各住戸の玄関に着くと、顔検知機能付インターホン（「セキュリフェースインターホン」）で用件を伝え、家に入ります。一方、居住者は非接触ICカード（「セキュリロックⅡ」）でゲートを開錠し、指紋照合装置（「セサモ・ホームIDs」）で玄関の扉を開錠して、家に入ります。住宅には「セコム・ホームセキュリティ」が設置されており、1階は「SECOMあんしんガラス」、住宅の外周には「センサーライトカメラ」が設置され、不在時の来訪者を録画することができます。

セコムは、今後も豊富なサービス・商品を活用した提案をすることで、安全・安心な街づくりに貢献していきます。

「セコムMS-3」で出入管理を行うタウンセキュリティご契約先のメインゲート



## その他のセキュリティサービス

「携帯するセキュリティ」としてさまざまなお客様のニーズに応えることで、利用分野が広がる「ココセコム」。

セコムのシステムと融合して新たなサービスを創出するなど、進化を続けています。

### 需要が拡大する「ココセコム」

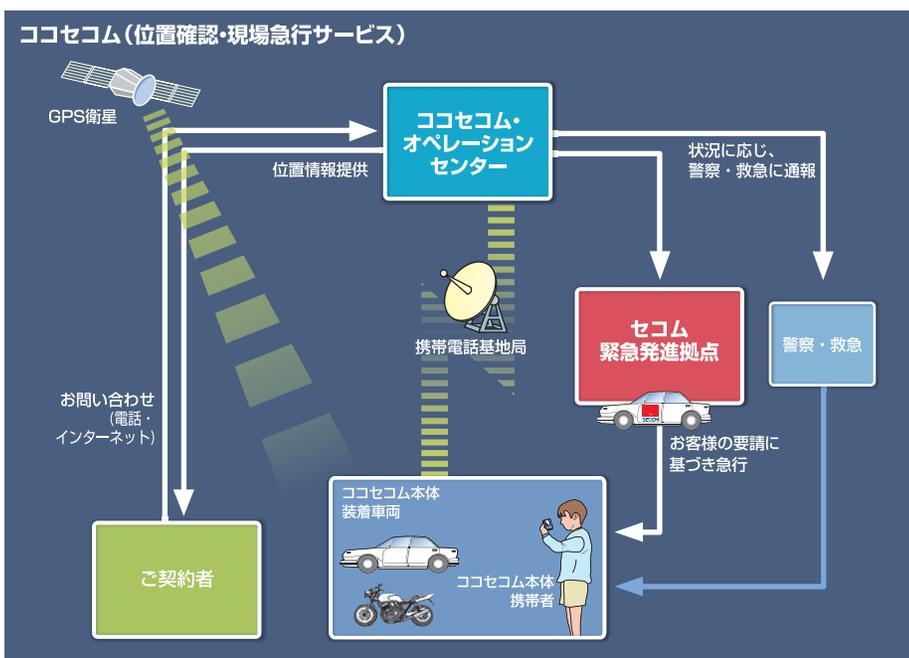
2001年に「携帯するセキュリティ」として新たな需要を創出した位置情報提供サービス「ココセコム」は、サービス開始以来、盗難車両の発見や徘徊高齢者の保護など、数々の事件の早期解決や未然防止に役立っています。「ココセコム」は、GPS（全地球測位システム）衛星と携帯電話基地局の位置情報を利用する測位補完システムにより、条件が良ければ誤差わずか5m～10mの高精度で位置情報を提供できるサービスです。お客様の要請で24時間365日セコムの緊急対応員が急行するサービスがあるのも、「ココセコム」の大きな特徴です。現在、「ココセコム」のサービス対象は、人や車、荷物などの物、ペットにまで及んでいます。

セコムは、2007年3月から児童の安全管理を行う「ココセコム登下校管理システム」を販

売開始しました。このサービスは、“登下校確認・校内在否確認”と“通学途中の位置情報とセキュリティ”を、一体化して提供するものです。具体的には、校門に設置された専用のICタグリーダーが「ココセコム」のICタグ情報を受信することにより、登下校情報として保護者の携帯電話などにEメールで通知します。通学途中は、「ココセコム」で児童の位置情報をリアルタイムで知ることができます。また、児童が身の危険を感じた場合、「ココセコム」の通報ボタンを押すだけで、セコムに通報することができ、要請によりセコムの緊急対応員が現場に急行します。さらに、ICタグリーダーを校内にこまなく設置することで、校内の全児童の所在確認を、より精細に行うことができます。セコムは、凶悪犯罪から児童を守るために、このサービスを全国の学校や学習塾、教育施設などに積極的に提案しています。



ココセコム・オペレーションセンター



位置情報提供サービス「ココセコム」



ICタグと「ココセコム」を融合させた「ココセコム登下校管理システム」

## 海外でのセキュリティサービス

日本と同様に、質の高いセキュリティサービスを提供して、拡大する海外事業。特に、本格的な普及期を迎えているアジア圏では、一層の成長をめざしています。

### ベトナムへの進出でさらに海外事業が拡大

セコムは、2006年6月にベトナムの現地法人との合併で、セキュリティコンサルティングサービスを始めました。セコムは海外事業を、台湾、韓国、米国、英国、タイ、マレーシア、シンガポール、オーストラリア、中国、インドネシアで展開していますが、今回新たにベトナムが加わりました。ベトナムで事業を開始したのは、日系企業をはじめとする外資系企業が続々と進出しており、将来の経済成長が期待できると考えたからです。現在のベトナムのセキュリティ市場は、人による常駐警備が中心となっています。セコムは、今後オンライン・セキュリティシステムを中心に、事業を拡大していく計画です。

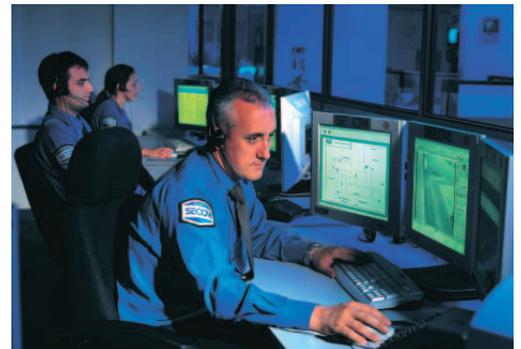
### 中国市場は本格的な普及期へ

中国におけるセキュリティサービス事業は、1992年に持株会社セコム(チャイナ) Co., Ltd. を設立したのが始まりです。その後、経済発展が著しい沿岸主要都市の大連、上海、北京、青島、深圳にセキュリティ会社を設立し、異常監視を行うだけでなく、緊急対応員が駆けつける日本と同じ形態のセキュリティサービスを提供することで、ご契約先を増やしています。現在、これら5社ではさらなる業容の拡大のために、本社所在地の市内だけではなく、周辺都市に支社などの拠点を開設して、サービス提供エリアの拡大を図っています。セコムは、まず沿岸主要都市のサービス提供エリアを、現在の13都市から20都市程度に拡大する展開を進めており、その次のステップとして、内陸部の主要都市への進出も視野に入れていきます。

中国市場での本格的な普及体制を整えたセコムは、セコムならではの質の高いセキュリティサービスを提供することで、中国でのさらなる発展をめざしていきます。



北京京盾 セコム エレクトロニックセキュリティCo., Ltd.



セコムPLC(英国)のコントロールセンター

## 防災サービス

セコムと能美防災(株)の経営資源・ノウハウを融合させて展開する、防災サービス事業。住宅用火災警報器の販売が、順調に推移しています。



文化財に設置された消火設備

### 住宅用火災警報器の設置義務化で需要が急増

消防法の一部改正に伴い、2006年6月1日から全国一律で、新築住宅への住宅用火災警報器の設置が義務づけられました。また、既築住宅にも、今後、市町村条例で設置が義務化されます。セコムは、この法改正を受けて、住宅用火災警報器として新「ホーム火災センサー」の販売を開始しました。このセンサーを製造しているのが、2006年12月より連結子会社となった防災業界最大手の能美防災(株)です。

新「ホーム火災センサー」は、一般住宅や共同住宅向けに開発された火災警報器で、火災発生時の煙や熱を感知して、音と光で異常を知らせます。このセンサーは、電源に電池を使っているので、火災時に停電しても機能が停止しません。また、センサー単独で機能するので、手間のかかる配線作業がいらす、一般の方でも簡

単に取り付けることができます。さらに、電池は10年間交換不要、引き渡し後10年間の長期保証、故障した場合はセコムが24時間365日対応するなど、アフターサービスも充実しています。このような特徴を持つ新「ホーム火災センサー」は、住宅を開発するデベロッパーなどから高い評価を受けており、今後も普及に邁進していきます。

能美防災(株)は、オフィスビル、プラント、トンネル、文化財、船舶、住宅など、幅広い施設に自動火災報知設備や消火設備などの防災システムを提供することで、社会の安全に貢献してきましたが、今後も多様化・高度化する防災ニーズに的確にお応えするとともに、セコムの防犯技術と融合した新商品の開発に努め、新市場の開拓をめざします。



能美防災(株)メヌマ工場



泡消火設備

## メディカルサービス

健康の視点から「安全・安心」を提供するメディカルサービス。  
在宅医療サービスや新しいコンセプトの有料老人ホーム事業などを展開し、セコムをさらに成長させていきます。

### さらに質を高めた「訪問看護サービス」

セコムがメディカルサービス事業を始めたのは、「安全・安心」を提供する会社として、お客様の「生命を守る」ことも重要であると考えたからです。

1991年にセコムが最初に手がけたメディカルサービスは、日本で初めての民間による在宅医療サービスです。その中でも、中心的なサービスとなっているのが「訪問看護サービス」です。これは、主治医の指示に基づいて訪問看護師が患者様のお宅を定期的に訪問し、状態観察や処置などを行うサービスです。訪問看護師の拠点である「セコム訪問看護ステーション」は、24時間看護師と連絡をとれる体制が整っており、その数も全国42カ所に増えました。セコムの「訪問看護サービス」は、高い知識と技術を持つ訪問看護師が、質の高い看護サービスを提供することで定評がありますが、訪問看護師の研修センターを新設するなど、より質の高い看護サービスの提供にも努めています。セコムは、これからもお客様から信頼される「訪問看護サービス」を提供し、お客様の期待に応えていきます。

### 新しいコンセプトの有料老人ホームを運営開始

セコムは、セキュリティ・医療・介護サービスのノウハウを結集した新しいコンセプトの有料老人ホーム「セコムフォート」シリーズの第一弾として、2006年10月、横浜市に「コンフォートガーデンあざみ野」をオープンしました。セコムは、すでに介護付有料老人ホームの「サクラピア成城」「ロイヤルライフ多摩」および「アライブケアホーム」シリーズを運営しており、この分野で実績があります。そ

の経験による有料老人ホーム運営のノウハウに加えて、これからの時代の高齢者の生活や住環境を考慮して開設したのが、「コンフォートガーデンあざみ野」です。

「コンフォートガーデンあざみ野」では、「コンフォートエイジング（快適に年齢を重ねる）」をコンセプトにして、「健康で生涯にわたって住み続けられる住まいであること」「介護が必要になった場合でも尊厳の保たれた温かい介護サービスが受けられること」という2つの安心を大きな核に、さまざまなサービス体制を整えています。

また、「セコムフォート」シリーズの第二弾として、2009年4月には神戸市に「コンフォートヒルズ六甲」をオープンする予定です。



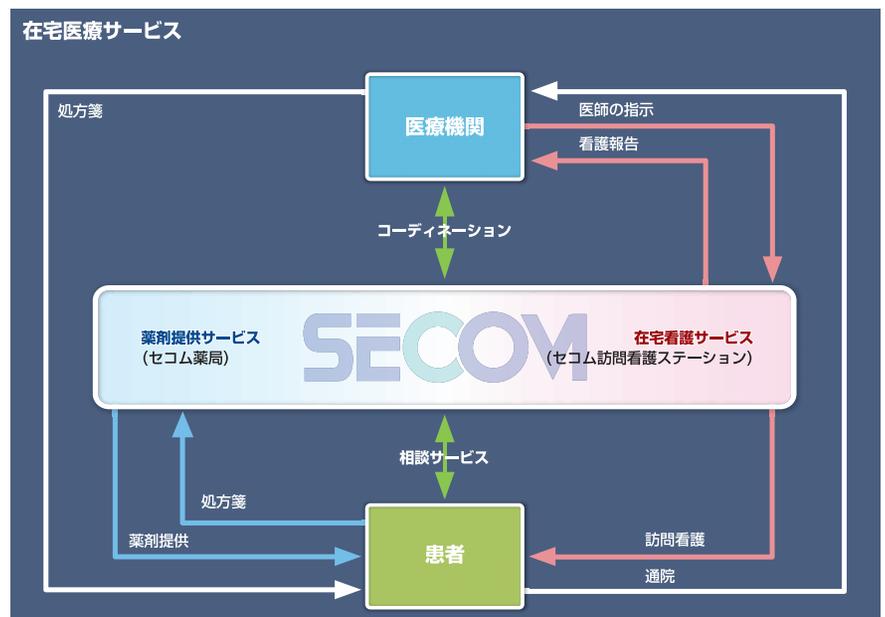
訪問看護師の研修



「コンフォートガーデンあざみ野」



「コンフォートガーデンあざみ野」の居室



## 保険サービス

お客様の「安全・安心」を、事後の補償にまで広げたセコムの損害保険。  
セコムらしいユニークな保険商品を開発し、さらなる拡販に努めています。



「NEWセコム安心マイカー保険」の  
現場急行サービス

### ユニークなセコムの損害保険

セコムが損害保険を始めたのは、事前の備えであるセキュリティと事後の補償である損害保険が一体化することで、「安全・安心」がより強固なものになると考えたからです。そのため、セコムはグループ内の損害保険会社で、ユニークな損害保険を販売しています。

そのひとつが、「セコム安心マイホーム保険」です。これは、火災や盗難のリスクが低いホームセキュリティのご契約先の保険料を、各種割引を組み合わせることで、最大約60%割り引くもので、お客様から好評を得ています。法人向けには、セキュリティシステムの導入でリスクが低減したご契約先の保険料を、最大約30%割り引く「火災保険セキュリティ割引」を提供しています。自動車総合保険の「NEWセコム安心マイカー保険」では、お客様が万一、事故にあった場合、24時間365日、事故現場にセコムの緊急対応員が駆けつける「現場急行サービス」を要請できます。

ガン保険でも、ユニークな商品を開発しています。自由診療保険「メディコム」は、自由診

療でも公的保険診療でも入院治療費の実額を補償します。自由診療では通常治療費をすべて自己負担しますが、この保険に加入すれば、ご契約者は経済的な負担を心配することなく、最先端の治療を受けることができます。また、「メディコム」のご契約者が無料で利用できる「メディコム・ナースコール」は、看護師の資格を持つ専任スタッフが、ガンに関する相談に乗ったり、医療機関を紹介しています。これにより、ご契約者は主治医以外のガン専門医からセカンドオピニオンなどを受けることができます。また、「メディコム」の新シリーズとして、2006年8月に発売したのが、乳ガンを経験された方が加入できる自由診療保険「メディコムワン」です。一般的なガン保険の多くは、ガンにかかったことがある方は加入できませんが、「メディコムワン」は申し込みの条件をすべて満たせば、乳ガンを経験した女性でも加入することができます。

セコムは、これからもセコムらしい魅力ある商品を開発し、さらなる拡販に努めていきます。



損害保険のコールセンター



「メディコム」ナースコールセンター

## 地理情報サービス

地理情報システム (GIS) と測量・計測技術で、世界一の空間情報事業者をめざしている (株) パスコ。

商用人工衛星の打ち上げ成功で、衛星による新たな地理情報サービスを開始しました。

### (株) パスコの新たな地理情報サービスが始動

2007年6月15日、商用目的では世界最高の解像度を持つドイツの商用人工衛星が、打ち上げられました。この衛星は、マイクロ波を使って地表面を撮影するので、天候や昼夜を問わずに撮影でき、最高で1mの解像度を実現します。1/25,000相当の縮尺で日本全土の地表面データを撮影する場合、航空機で10年、光学衛星で4年半かかっていた撮影が、わずか1カ月半でできるので、その利点を活かして、地図データの更新や地球規模で頻発する地震、津波、台風、火山活動などの影響による地形変化の分析などを、迅速に行うことができます。

(株) パスコは、この衛星による撮影画像の日本国内での独占販売権と、全世界への販売権を取得しており、今回の打ち上げ成功で、衛星による地理情報サービスをスタートすることができました。(株) パスコは、長年培ってきた測量技術や空間情報処理技術と、衛星による撮影データを連携させた地理情報サービスを、今後意欲的に提供していきます。

### さまざまな空間情報サービスを提供

(株) パスコは、さまざまな空間情報サービスを提供しています。空間情報サービスとは、例えて言えば、カーナビゲーションシステム画面の立体的な地形図に、国道や車線の数、ガソリンスタンドの位置などの情報を表示することで、(株) パスコの空間情報サービスには、官公庁向けとして、都市計画や道路の設計を支援するサービスなどがあります。民間企業向けには、出店計画などのマーケティングを支援するサービス、トラックなどの配送計画により効率的な物流を支援するサービスなどのほか、震災時における施設倒壊の危険度評価や従業員の帰宅支援など、災害対策をサポートするサービスがあります。

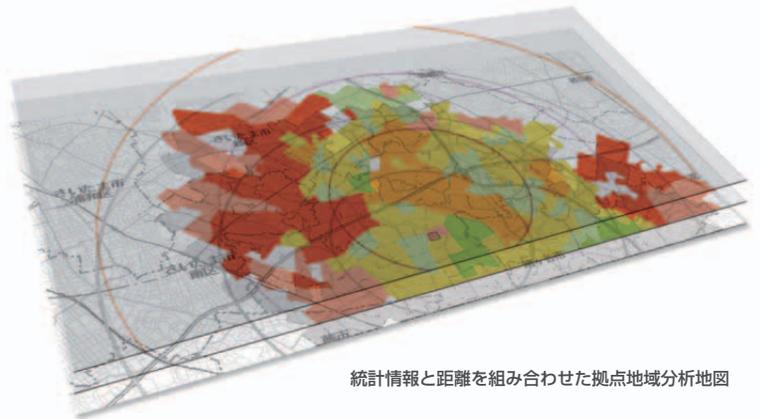
(株) パスコは、今後も空間情報サービスの拡充を図り、世界一の空間情報事業者をめざしていきます。



©Infoterra GmbH

©EADS Astrium

商用人工衛星「Terra SAR-X」とシミュレーション画像



統計情報と距離を組み合わせた拠点地域分析地図

## 情報通信・その他のサービス

情報通信サービスでは、コンピュータ・ネットワーク社会に対応した「安全・安心」を提供。不動産開発・販売では、「安心と快適のマンション」をコンセプトにしたマンションを提供しています。

### 危機管理に有効な災害対策支援サービスを提供

セコムは、大規模災害が発生したときに、ご契約先がいち早く事業を再開できるように支援する、さまざまなサービスを提供しています。そのひとつである「セコム安否確認サービス」は、地震や台風などの自然災害や、テロなどの人為災害が発生したときに、社員やそのご家族の安否、建物などの被災情報を、迅速・確実に収集・共有化し、企業活動の早期復旧を支援するサービスです。さらに、災害発生時における企業の迅速な初動対策の立案を支援する「セコム初動支援サービス」、災害などの発生に備えて、企業の大切な電子データを安全にお預かりする「セコム電子データ保管サービス」も提供しています。災害発生時の企業活動の早期復旧と、そのためのBCPの策定は、企業の危機管理対策として、重要な課題となっています。セコムは、このような災害対策支援サービスをさらに強化し、BCPに対する取り組みを積極的に進めています。

### 高度なサイバーセキュリティを支える

#### 「セキュアデータセンター」

セコムが運営する「セキュアデータセンター」では、24時間体制の常駐警備と、出入管理シス



「セコム安否確認サービス」

テムや監視カメラシステムなどの厳重なフィジカルセキュリティのもとで、お客様のサーバーをお預かりしています。ここでは、外部からの不正アクセス監視、ウイルス監視、電子認証サービスなどの高度なサイバーセキュリティを提供し、お客様の重要な電子データを守っています。「セキュアデータセンター」の高度なセキュリティと厳密な運用は、金融機関をはじめとする企業から高く評価され、多くのご契約をいただいています。今後も、サイバーセキュリティサービスの展開を積極的に進め、さらなる拡販に努めていきます。

### セキュリティと災害対策に優れた マンションも販売

セコムは、「安心と快適のマンション」をコンセプトに、高品質なセキュリティとセコムの総合力を活用した分譲マンション「グローリオ」シリーズを開発・販売しています。各戸に、セコムのオンライン・セキュリティシステムを標準装備し、入居後の暮らしを支える「グローリオ・サポート24」では、24時間体制のお客様サービスセンターが窓口となり、住居に関するだけでなく、損害保険、医療、介護など、さまざまなお相談に乗っています。また、災害対策として、高度な耐震設計、給湯器のタンクの水を非常用水として利用できる工夫やマンホールを利用したトイレなど、災害発生時のさまざまな場面を想定したバックアップ体制を整えたマンションも、販売しています。

セコムは、セキュリティや防災をはじめとする総合力を活かし、これからもお客様に満足していただけるマンションを開発していきます。



セキュアデータセンター



グローリオタワー巣鴨